

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

今年も元気に頑張ります



憲法9条の改憲を許さない!

区民のみなさんと一緒に今年も頑張ります。(区役所屋上で)

全ての子ともが豊かに育つために

保育・教育・子育て支援など環境整備に頑張ります

小学校の学校選択制を 変更

一昨年、品川区教育委員会は「学事制度審議会」を設置して、品川の公立学校の在り方、特に、学校選択制について議論し、中間のまとめをつくりました。

その内容は、中学校の学校選択は今までどおり全区域とし、小学校は区内4ブロックに分けていたのを変え、もともと入学する学校に隣り合っている学校（6校程度）から選ぶことにして、選択範囲を縮小したのです。

その理由は、今回の議論

に限らずいつも町会役員の方たちから出されている意見、「よその地域の学校に行くと子ども同士の交流がなくなるし、地域のきずなもつけれない。災害発生時の避難を考えると学校選択制は反対だ」と厳しい意見が出されているからです。

保護者の学校選択はわずか3割

また、実際に学校を選ぶのは3割程度にとどまっています。

選択することで大規模校と小規模校が生まれる事、選ばれない学校が作られる事で、学校で起きている問

題を地域と共に克服する地域の教育力や学校を通じて地域が繋がる地域力を壊しています。

共産党は、学校選択制はもうやめるべきだと考えています。

継続の狙いは教育コストの削減

選択する保護者も少ない上に、町会役員も反対している学校選択制を、なぜ、区教委はちよつとだけ変えて継続しようとしているのでしょうか。

小規模の学校でも必要な教員配置をしなければなりません。そのような「無駄」

をなくしたい。これが本音です。

中間のまとめは「学校運営にかかる経費も標準規模以上の学校に比べ児童一人当たりでは高くなり財政上の問題も存在します」と記述。教育にかかるお金を「財政上の問題」としています。また、「極端な小規模状態が長期間続き、教育上、学校運営上支障がある場合には、検討機関を立ち上げて具体的な方策が必要」と記述。これは学校統廃合を指しています。

学校を選ばせてその結果小規模になれば廃校にするなどとてもないことです。これでは、保護者が悪くなるのではないのでしょうか。

どこの学校でも同じ教育条件のもと、楽しく学べる教育こそ子どもたちや保護者、社会が求めているのではないのでしょうか。